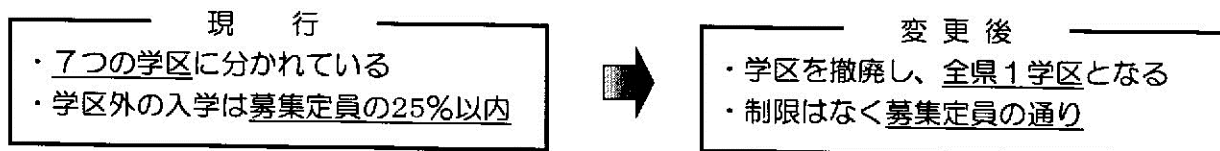


修学旅行や宿泊学習、遠足が目標を達成して終わり、地区春季大会に向け部活動の練習にも熱気がみなぎってきました。また、中間テストも控えていますので、部活動と学習の両立に忙しい毎日を送っていることと思います。さて、今回は、県立高校の学区制廃止のこと、矢板東高校の募集定員、私立高入試・県立高入学者選抜の日程などについてお知らせします。

■ 県立高校の通学区域（学区制）について

県教委は3月に、平成27年に行う選抜（現中学3年生）から、県立高校の「通学区域」を設けないことを正式に決定しました。今までは宇河地区や那須地区の普通科や総合学科を受検するときには、学区外の人が合格できるのは募集定員の25%以内という制限（特色選抜の合格内定者数についても同じ）がありました。たとえば、定員が280名の場合、学区外で合格できるのは、 $280 \times 0.25 = 70$ 名までとなり、71番目の人は学区内の人より点数等が高かったとしても不合格となっていました。しかし、今度学区制がなくなったことにより、今年の3年生からはどの高校を受検する場合でも実力だけで選抜されることとなります。



■ 矢板東中高一貫教育校について

- 高校入試のない6年間の学校生活の中で計画的・継続的な教育を行う中高一貫教育校です。

基礎期	充 実 期	発 展 期
-----	-------	-------

- 中学生と高校生が同じ敷地内で学校生活を送ります。
- 特別教室は、運動場などは中学校と高校で共用し、保健室、生徒会室等は別々となります。
- 始業時刻、授業時間、昼休みの時間などは中学校と高校で基本的に同じとなります。終業時刻は異なる日があります。
- 学校行事や部活動は、中学校と高校の合同で実施するものがあります。
- 矢板東高校の募集定員について

各学年とも中学校が2学級（男女同数で70名）、高校が4学級（男女の合計で160名）となります。附属中学校の生徒が高校に進学する平成27年度入学からは、不足分の90名を選抜することとなります。したがって、高校の募集人数は、現在の3年生までは160名、1・2年生からは90名となります。

また、特色選抜では、中高一貫教育校の場合、特例により募集定員の全員を選抜できることになっていますので、矢板東高校の平成27年度入学からは、特色選抜だけで入学者が決定し、一般選抜を行わないこともあります。

【矢板東高校・附属中学校の募集定員の推移】

	H26年度	H27年度	H28年度
高 3	160	160	160
高 2	160	160	160
高 1	160	70 90	70 90
中 3	70	70	70
中 2	70	70	70
中 1	70	70	70

↑ 選 抜